

## 8 卒業生動向調査 平成4年(1992)

高知女子大学 山崎 智子(3回生)

○宮内 美紀子(16回生)

藤田 佐和(28回生)

### I はじめに

卒業生の社会的活動は大学の特徴を示すものの一つであると考えられる。ある意味では教育の成果を示す指標であるともいえるであろう。昭和59年の調査以来、定期的に把握したいとの願望をもちながらも今日に至っていた。この度、平成3年3月卒業生までを対象に実態調査をしたので、集計結果を報告する。

調査目的：① 高知女子大学看護学科卒業生の動向を知る。

② 卒業生の看護学科への期待を把握し、将来構想に資する。

### II 調査対象と方法

- 1) 調査対象者：高知女子大学看護学科卒業生 1～37期生の760人
- 2) 調査方法：質問紙郵送法。記名式の自己記載法とした。質問紙発送後二か月を経過した時点で葉書による督促をして情報を収集した。
- 3) 調査期間：平成4年1月22日～平成4年4月30日
- 4) 主な調査項目：①就業状況、②卒業後の職種・職場の変遷、③職業的な成長・発展に関して、④看護学科に期待すること
- 5) 分析方法：調査の結果得られたデータに対して、統計学パッケージSPSSを用いてコンピューターによる分析を行なった。

対象者の概要と上記の①から④の各項目毎に卒業年代群別(1～10期生、11～20期生、21～30期生、31～37期生)の分類と、職種別(看護婦、保健婦、助産婦、養護教諭、看護教員、その他)の分類によって整理分析し、前回の調査(昭和59年実施)結果と比較した。

### III 結果の概要

#### 1) 対象の概要

調査対象者は平成3年3月31日までに高知女子大学看護学科を卒業した1～37期生の760人である。調査前に既に死亡が確認されていた人が9人、住所不明者が22人あり、調査用紙は729人に発送した。調査の結果、新たに7人が住所不明で返送されてきた。調査用紙の回収数は447、回収率は61.1%である。卒業生総数760人の内訳は、死亡した人9人、住所不明29人

であった。(表1参照)

回答者の中で各年代群別に占める割合は、1～10期生19.7%、11～20期生24.2%、21～30期生29.5%、31～37期生26.6%であった。各年代群別回収率は、55.1～73.5%の幅があった。

## 2) 就業状況

回答者 447 人中、就業者は、346 人(77.4%)、未就業者は、101 人(22.6%)であった。就業状況を卒業年代群別にみると、1～10期生は72.7%、11～20期生は81.5%、21～30期生は68.2%、31～37期生は87.4%が職業に就いていた。

卒業してあまり年数を経っていない31～37期生は87.4%と最も就業率が高く、21～30期生は68.2%とやや就業率が低くなっており、年代群別に差はみられるが、就業率は68.2～87.4%であり一定して高い。(表2参照)

### (1) 就業者の実態

#### ① 就業内容

就業者 346 人の就業内容の職業別内訳は、看護婦 112 人(32.1%)、保健婦98人(28.1%)、助産婦 2 人(0.6%)、養護教諭58人(16.7%)、看護教員67人(19.3%)、その内で大学の教員は42人(12.1%)、その他の看護教員25人(7.2%)、その他11人(3.2%)であった。その他には看護職以外の職業に従事している人が含まれる。(表3参照)

#### ② 卒業年代群別就業内容

就業内容の内訳を卒業年代群別にみると、表4に示す通り、1～10期生は養護教諭と看護教員で64.1%を占め、11～20期生は保健婦と看護教員で53.4%、21～30期生は保健婦と看護教員で65.5%、31～37期生は看護婦と保健婦で92.3%をそれぞれ占めていた。

現在看護婦は、全就業者の32.4%である。このうちの62.5%は31～37期生であり、1～10期生11.6%、11～20期生15.5%、21～30期生10.7%であった。現在保健婦は全就業者の27.7%である。これを卒業年代群別にみると、21～30期生40.6%で、占める割合が最も高く、11～20期生25.0%、31～37期生27.1%とほぼ同率であり、1～10期生は7.3%と最も低い。

養護教諭は、各卒業年代群の全就業内容中に占める割合は、1～10期生31.3%、11～20期生21.6%、21～30期生17.8%、31～37期生2.9%である。養護教諭58人(16.8%)の卒業年代群別に占める割合は、1～10期生34.5%、11～20期生32.8%、21～30期生27.6%、31～37期生5.2%である。比較的最近の卒業生は養護教諭に従事するものが少なくなっている。

看護教員は、各卒業年代群の全就業内容中に占める割合は、1～10期生32.8%、11～20期生26.1%、21～30期生22.2%であり、31～37期生は2.9%のみである。看護教員67人

(19.3%)のうち、各年代群別に占める割合をみると、1～10期生31.3%、11～20期生34.3%、21～30期生29.9%、31～37期生4.5%である。卒業後年数を経た年代群に看護教育に従事するものが多くなっている。(表4参照)

### ③ 就業機関

就業機関の内訳は、就業者全体では、病院30.6%、高等学校11.6%、保健所10.1%、市町村・区役所9.8%、幼小中学校9.2%である。

卒業年代群別の就業機関の内訳は表5の通りである。就業者の割合が多い順にあげると1～10期生は高校、病院、短大、幼小中学校、大学の順で79.7%、11～20期生は高校、病院、幼小中学校、事業所、短大の順で合わせて69.4%、21～30期生は市町村区役所、保健所、病院、幼小中学校の順で合わせて61.2%、31～37期生は、病院と保健所で77.9%をそれぞれ占めている。(表5参照)

職業別にみると、看護婦は、病院90.1%で、残りが診療所、市町村・区役所、事業所・企業、乳児院・社会福祉施設等で就業している。保健婦は、保健所36.5%、市町村・区役所32.3%、事業所・企業22.9%である。保健所、市町村・区役所を合わせて68.8%を占めている。助産婦は2人であるが、それぞれ病院と母子センターで就業している。養護教諭は、幼少中学校51.7%、高校46.6%である。看護教員は、短大35.8%、大学26.9%、専修学校/各種学校19.4%、高校17.9%である。(表6参照)

### ④ 役職

就業者の現在の地位/職位は、何らかの管理指導的ポストについている人は、14.8%、役職なしは68.6%である。

卒業年代群別に役職をみると、総婦長は、8人中6人(75.0%)が1～10期生、2人(25.0%)が11～20期生で、21期生以降にはいない。看護教育では教授は14人中9人(64.3%)が1～10期生、5人(35.7%)が11～20期生で、それ以降にはみられない。1～10期生の中には、校(副校)長も3人見られる。卒業後20年近く、あるいはそれ以上の年代群に管理指導的ポストについているものが多い。(表7参照)

就業者の現在の役職/職位を現在の職種別にみると、看護婦では総婦長7.3%、病棟婦長4.5%、主任/係長5.5%、保健婦では、保健婦長(室長)2.1%、主任/係長9.4%看護教員では大学短大では教授33.3%、その他の看護教員では、校(副校)長8.0%、教務主任8.0%である。(表8参照)

### ⑤ 就業地

現在の就業地を都道府県別にみると表9に示す通りで、四国地区が46.7%を占め、ついで関東地区19.7%、近畿地区16.8%でありこれらの地区で83.2%を占める。出身地の構成

と比較すると、四国地区出身70.1%、近畿地区出身6.5%、関東地区出身0.9%であり、四国地区から関東、近畿地区に移動している。高知県出身者は55.3%であるが、現在の就業地が高知県の人は35.1%である。(表9参照)

卒業年代群別に現在の就業地をみると、どの年代群も四国地区、関東地区、近畿地区で80%以上を占め、高知県の占める割合は34.4%から35.9%である。1~10期生は近畿地区26.5%、関東地区12.5%で近畿地区が関東地区より多いが、その他の年代群は、関東地区で就業する割合が近畿地区よりも高い。31~37期生は関東地区と近畿地区で41.7%を占めこれは四国地区41.7%と同率である。(表10参照)

現在の職種別に就業地をみると、看護婦は四国地区36.9%、関東地区25.2%、近畿地区21.6%で、他職種と比較すると関東地区の占める割合が大きく、関東地区で就業している68人中看護婦は41.2%を占めている。保健婦、養護教諭、看護教員は四国地区の占める割合が大きく、それぞれ50%以上を占めている。(表11参照)

## (2) 未就業者の実態

### ① 未就業の内訳

未就業の内訳は、表12に示した通り、専業主婦73人(72.3%)、就学中14人(13.9%)、休職中7人(6.9%)で、現在就業していないものの多くは主婦業に専念していた。(表12参照)

未就業の内訳を卒業年代群別にみると、専業主婦が、1~10期生83.4%、11~20期生75.0%、21~30期生71.4%、31~37期生53.4%と各年代群共に最も高い割合を占めているが年代の若い順に減少している。就学のために現在未就業の割合は、31~37期生33.3%、21~30期生16.7%、11~20期生10.0%、と若い年代に高い。(表13参照)

### ② 無職の理由

未就業の理由は、結婚と出産・育児・子供の教育が同率で最も高く、合わせて54.3%を占めている。労働条件、職場環境を無職の理由にあげた人はほとんどいなかった。職業と家庭生活の両立が困難であることが無職の理由の主なものであり、労働条件や職場環境が好ましくない場合には、転職や職場移動が行なわれているためであろう。まだ数は少ないが、卒業生のなかに定年退職を迎えた人がでてきている。(表14参照)

## 3) 卒業後の職種・職場の変遷

卒業時の職種をみると全体では、看護婦61.7%、保健婦19.1%、養護教諭12.8%である。卒業年代群別にみると、どの年代群も卒業後の第一歩を看護婦として踏み出した人が最も多い。最近になるほどその傾向性が強く、1~10期生42.0%、11~20期生52.8%、21~30期生63.6%、31~37期生82.2%となっており、時代による変化がみられる。

初期の頃は養護教諭で就職する人が多く、1～10期生30.7%、11～20期生14.8%であるが、21～30期生9.8%、31～37期生0.8%と最近は減少している。

保健婦で就職する人は、1～10期生23.9%、11～20期生13.9%、21～30期生22.7%、31～37期生16.1%である。

卒業後すぐに看護教員として就職する人はほとんどなく、全体では、3.8%、とくに大学・短大は1.1%のみである。卒業年代群別では、11～20期生に卒業後すぐに看護高校／専修学校／各種学校の看護教員になった人が11.1%みられる。(表15、表16参照)

これらの卒業時の職種は、時代の社会的要請や卒業生の考え方を反映するものと考えられる。最近では、看護婦が多く、臨床への指向がうかがえる。これはまた、卒業時の第一歩は看護実践の場への参加を期待している大学の教育方針と社会的背景を反映していると思われる。

#### ① 転職回数

卒業生の転職回数は、卒業時から同職種の人から最大9回の転職をしている人までの幅があった。現在就業中で、卒業時から同職種の方は39.6%であり、卒業生の六割以上が1回以上の転職をしている。

卒業年代群別には、31～37期生では卒業時から同職種の方が多く72.9%であり、21～30期生33.6%、1～10期生25.9%、11～20期生21.0%である。卒業してから年数が経っていない年代群に転職していない人が多く、卒業年数が経つにつれ、減少している。卒業後の年数が20年以上になっている1～10期生、11～20期生では転職が多くなるのは、近年増加してきた大学や短大の教育現場への移動等によるものであろう。

現在の職種別に転職回数をみると、看護婦は、最初の職場である人が58.6%で、2回目9.0%、3回目17.1%である。保健婦は最初の職場である人が32.6%、2回目28.4%、3回目20.0%である。養護教諭は、最初の職場である人が45.5%、2回目29.1%である。看護教員は、最初の職場である人は4.5%のみで、特に短大・大学の教員が最初の職場であるものはいない。2回目31.3%、3回目13.4%、4回目28.4%であり、看護教員には、他の職業を経てなる人の割合が高い。(表17参照、表18参照)

#### ② 就業期間

就業期間は、2回目、3回目の職種で5年以上あるいは10年以上を経過している人もみられる。

#### ③ 同職種内での職場移動の理由

同職種内での職場移動の理由は、全体では結婚が最も多く23.2%、Uターン、通勤時間等個人的理由によるものが多い。職業的発展や希望の職場への移動を理由としてあげた人は、あわせて18.5%である。(表19、表20参照)

#### ④ 転職の理由

転職の理由は、結婚等個人的理由の他に、やりたい仕事であったり、職業的発展のために24.0%あった。また、他からの要請10.6%、転勤14.5%と社会的な要請で職種が変更されることがあった。また少数ではあるが、気分転換を転職の理由としてあげた人がみられた。

(表21、表22参照)

#### ⑤ 退職の理由

退職の理由は、結婚・出産・育児が多く合せて約半数を占めていた。進学が理由での退職が15.2%あった。少数ではあるが定年退職者がいた。(表23、表24参照)

### 4) 職業的な成長・発展について

#### ① 将来の方針

将来の方針は、「今の職場を大切に成長していきたいと考えている。」が最も多く55.5%、「今の職種を継続して自分を生かせる職場を選択したい」が29.5%、「現在とは違う職種をめざしている」は8.4%である。

卒業年代群別にみると、卒業後年代の経っている群ほど、「今の職場を大切に成長していきたいと考えている。」割合が高く、若い年代群ほど、「今の職種を継続して自分を生かせる職場を選択したい」と思っている割合が高くなっている。31～37期生群は、「現在とは違う職種をめざしている」が20.2%と他の年代群よりも高く、現在の職種を、将来自分のめざす方向に向かってのプロセスと捉えている傾向がある。(表25参照)

現在の職種別にみると、保健婦、養護教諭、看護教員は「今の職場を大切に成長していきたいと考えている。」が62.5～75.9%と高く、看護婦は、「今の職種を継続して自分を生かせる職場を選択したい」42.0%、「現在とは違う職種をめざしている」17.9%である。「現在とは違う職種をめざしている」は、看護婦の占める割合が最も高く、69.0%は看護婦である。ここでも看護婦は現在の職種を将来に向かってのプロセスと捉える傾向性がうかがえる。(表26参照)

#### ② 今後したいこと

今後したいこととしては、「自己啓発」や「専門的知識への探究」など職業的発展や業績を積むこと、専門的な関心領域や専門職としての活動の場、あるいはよりよい条件を求めて「職場移動」や「転職」を希望する等がみられた。また、少数ではあるが「模索中」であったり、あるいは「退職後の設計」を考える人もいた。(表27、表28)

#### ③ 職業的発展のための努力内容

自己を高めるための努力として、「講習会に参加」「専門誌を読む」「専門的学習」「研究活動」「学習会をもつ」など専門的知識の探究が多く回答された。「進学」と答えたものが



4.8%あった。また、「学ぶ姿勢をもつ」「毎日の仕事を大切にする」等、卒業生は実践の場で日々業務に追われながらも、専門的能力や自己の人間の成長に向かっての努力をしていることがうかがえる。職種別には、看護婦は「専門誌を読む」「施設内研究会に参加」「講習会をもつ」が多く、保健婦は「講習会に参加」「学習会をもつ」が多い。養護教諭は「講習会に参加」「学習会をもつ」、看護教員は「研究活動」が多かった。（表29、表30参照）

#### 5) 看護学科に期待すること

「看護学科に期待すること」の項目に238人から合計651の意見が寄せられた。

卒業生が看護学科に期待することとして、「大学院の早期実現」「学部独立の早期実現」をはじめとして、「大学のあり方」「卒後教育の内容」等が上位に挙がった。その他、教職員の充実、人材の育成への期待、大学とのコミュニケーションや情報提供が期待され、今後の女子大の将来に向けての具体的な構想や意見もみられた。（表31参照）

#### 6) 前回の調査（昭和59年実施）との比較

##### ① 調査対象の比較

前回の動向調査は昭和59年に実施された。調査対象は、1～29期生の572人、回答数は253であった。それぞれの調査の対象者の概要は表32に示す通りである。今回の調査は、前回と比較すると若い卒業年代の占める割合が増加している。（表32参照）

##### ② 調査時の就業状況の比較

調査時の就業状況は、前回職業あり74.3%、今回職業あり77.4%であった。一定して高い就業率である。（表33参照）

卒業年代群別に就業者が対象者の中で占める割合を比較すると1～10期生は、ほぼ同率であり変化はみられないが、11～20期生は61.8%から81.5%に就業者が19.7%増加している。21～30期生は85.6%から68.2%に減少している。（表34参照）

##### ③ 調査時就業者の職種の比較

卒業年代群別に調査時の職種を比較すると、1～10期生は看護婦、保健婦、養護教諭はほぼ同率で変化は認められないが、大学・短大の看護教員が増加している。11～20期生は、専修学校や高校の看護教員が減少し、保健婦が増加している。21～30期生は、看護婦が1/3以下に減少し、保健婦、看護教員が増加している。31～37期生は前回はまだ調査対象に入っていない。1～10期生は、卒業して年代を経ており、変遷の結果定着している傾向と他の職種を経て看護教員になる傾向が示されていると思われる。21～30期生は、前回調査時には卒業後10年以内の若い世代であったことを考えると、既にみてきたように、卒業後看護婦で第一歩を踏み出して、希望の職種へ移行しているプロセスにあるといえよう。（表35参照）

##### ④ 調査時未就業者の内訳の比較

前回の調査では、調査時就業していないものの多くは主婦業に専念していた。今回の調査でも同様である。また、無職者のうち9.2%（6人）が調査時就学中であった。今回の調査では13.9%（14人）と就学中の割合が増加している。（表36参照）

#### Ⅳ まとめ

- 1) 対象の概要については、卒業生760人中、死亡と住所不明者を除く729人に調査用紙を発送し、447人（回収率61.1%）から回答を得た。
- 2) 就業状況は、就業者346人（77.4%）、未就業者101人（22.6%）であった。就業者346人の職種は、看護婦112人（32.1%）、保健婦98人（28.1%）、助産婦2人（0.6%）、養護教諭58人（16.7%）、看護教員67人（19.3%）、その他11人（3.2%）であった。未就業者101人の内訳は、専業主婦73人（72.3%）、就学中14人（13.9%）、休職中7人（6.9%）、その他7人（6.9%）であった。
- 3) 卒業後の職種・職場の変遷については、現在就業者の六割以上が、1回以上の転職をしていた。卒業時の職種は、看護婦61.7%、保健婦19.1%、養護教諭12.8%であった。卒業時すぐに看護教員になる人は、ほとんどいなかった。職場移動の理由は、結婚が最も多く、次いで職業的発展や希望の職場職種への移動であった。退職の理由は、結婚・出産・育児が約半数を占めており、進学のための退職は15.2%あった。
- 4) 職業的な成長・発展については、将来の方針は、「今の職場を大切に成長していきたいと考えている」が最も多く55.5%、「今の職種を継続して自分を生かせる職場を選択したい」が29.5%、「現在とは違う職種をめざしている」は8.4%であった。卒業後年代の経っている群ほど、現在の職場を大切に考え、若い年代群ほど、現在の職種を大切に考える、割合が高くなっていった。看護婦は現在の職種を将来に向かってのプロセスと捉える傾向性がうかがえた。
- 5) 「看護学科に期待すること」の項目に238人から合計651の意見が寄せられた。
- 6) 前回の調査結果と比較すると、調査時の就業状況は、前回職業あり74.3%、今回職業あり77.4%であった。一定して高い就業率であった。卒業年代群別に調査時の職種を比較すると、1～10期生は看護婦、保健婦、養護教諭はほぼ同率で変化は認められなかったが、大学・短大の看護教員が増加していた。11～20期生は、専修学校や高校の看護教員が減少し、保健婦が増加していた。21～30期生は、看護婦が1/3以下に減少し、保健婦、看護教員が増加していた。

#### Ⅴ おわりに

卒業生は、大学に対して様々な期待をしていた。これらの内容は、卒業生が個別に、専門能力を高めて行くための課題であり、願望であると共に、高知女子大学看護学科が将来発展してい



くために整えていくべき大きな課題であると考え。

未筆ではありますが、動向調査に御協力下さいました卒業生の皆様に深謝いたします。

## Ⅵ 引用参考文献

- 1) 高知女子大学家政学部看護学科 看護学科三十年史編集委員会：看護学科三十年史，149 - 157. 高知女子大学家政学部看護学科，1984.
- 2) 大名門裕子、野嶋佐由美、森下利子：卒業生動向調査，高知女子大学看護学会誌，131 - 153. 高知女子大学家政学部看護学科，1986.
- 3) 大名門裕子、野嶋佐由美、森下利子：看護の専門職への過程，高知女子大学紀要（自然科学編）第33巻，1985.
- 4) 山崎智子：看護学発展への貢献—高知女子大学看護学科30年のあゆみを通して—，日本看護科学会誌，5(1)，Oct，1985.

表1 期生別、発送数及び回収率

平成4.3.31現在

期 生	卒業生数	発送数	回答数	回収率 %			
					死 亡	発送時 住所不明	住所不明 返 送
1	3	3	2	66.6			
2	13	13	7	53.8			
3	14	13	10	76.9	1		
4	22	22	13	59.1			
5	14	14	7	50.0			
6	15	15	7	46.7			
7	24	23	10	43.5		1	1
8	20	20	13	65.0			
9	20	19	6	31.6		1	
10	19	17	13	76.5	1	1	
11	22	20	11	52.4	2		
12	20	17	8	47.1	1	2	
13	19	17	12	70.6		2	
14	19	19	6	31.6			
15	23	21	8	38.1		2	
16	23	22	13	59.1	1		1
17	20	20	11	55.0			
18	22	18	12	66.7		4	
19	22	21	14	66.7		1	1
20	22	20	13	65.0		2	
21	17	16	7	43.8		1	1
22	24	24	12	50.0			
23	18	18	10	55.6			
24	21	20	10	50.0		1	
25	27	26	20	76.9		1	
26	21	21	11	52.4			
27	26	25	15	60.0	1		
28	23	21	14	66.7	2		
29	21	21	17	81.0			1
30	22	21	16	76.2		1	
31	19	17	10	58.8		2	2
32	27	27	23	85.2			
33	21	21	16	76.2			
34	26	26	18	69.2			
35	26	26	16	61.5			
36	24	24	17	70.8			
37	21	21	19	90.5			
計	760	729	447	61.1	9	22	7

表2 卒業年代群別 現在の就業状況

N = 447 平成 4. 3. 31 現在

年代群 就業状況	1～10期生	11～20期生	21～30期生	30～37期生	計
	職業あり	64 72.7	88 81.5	90 68.2	104 87.4
職業なし	24 27.3	20 18.5	42 31.8	15 12.6	101 22.6
総数	88 100.0	108 100.0	132 100.0	119 100.0	447 100.0

下段は%

表3 就業内容

N = 346 平成 4.3.31 現在

看護婦	112(32.1)
保健婦	98(28.1)
助産婦	2( 0.6)
養護教諭	58(16.7)
看護 教員	大学 短大 42(12.1)
	その他 25( 7.2)
その他	11( 3.2)

( )は%

表4 卒業年代群別 現在の職種

N = 346 平成 4. 3. 31 現在

現在の 職種 年代群	看護 婦	保健 婦	助 産 婦	養 護 教 諭	看護 教員		そ の 他	総 数
					大学 短大	その他		
1～10 期生	13 20.3 11.6	7 10.9 7.3		20 31.3 34.5	16 25.0 38.1	5 7.8 20.0	3 4.7 27.3	64 100.0 18.5
11～20 期生	17 19.3 15.2	24 27.3 25.0		19 21.6 32.8	14 15.9 33.3	9 10.2 36.0	5 5.7 45.5	88 100.0 25.4
21～30 期生	12 13.3 10.7	39 43.3 40.6	1 1.1 50.0	16 17.8 27.6	9 10.0 21.4	11 12.2 44.0	2 2.2 18.2	90 100.0 26.0
31～37 期生	70 67.3 62.5	26 25.0 27.1	1 1.0 50.0	3 2.9 5.2	3 2.9 7.1		1 1.0 9.1	104 100.0 30.1
総数	112 32.4 100.0	96 27.7 100.0	2 0.6 100.0	58 16.8 100.0	42 12.1 100.0	25 7.2 100.0	11 3.2 100.0	346 100.0 100.0

中段、下段は%

表5 卒業年代群別 就業機関

N=346 平成4.3.31現在

就業機関 年代群	病院	診療所	研究所	保健所	市町村 区役所	事業所 企業	母子セ ンター	幼小 中学校	高校	各種 学校	専修 学校	短大	大学	その他			計
														乳児 院	自 業	他	
1～10期生	12 18.8			1 1.6	2 3.1	3 4.7		8 12.5	15 23.4	2 3.1	2 3.1	9 14.1	7 10.9	2 3.1	1 1.6	64 100.0	
11～20期生	13 14.8			6 6.8	8 9.1	10 11.4		12 13.6	16 18.2			10 11.4	6 6.8	5 5.7	2 2.3	88 100.0	
21～30期生	14 15.6		1 1.1	14 15.6	17 18.9	6 6.7		10 11.1	8 8.9		9 10.0	6 6.7	4 4.4		1 1.1	90 100.0	
31～37期生	67 64.4	2 1.9		14 13.5	7 6.7	4 3.8	1 1.0	2 1.9	1 1.0			3 2.9	2 2.9	2 1.9	1 1.0	104 100.0	
総 数	106 30.6	2 0.6	1 0.3	35 10.1	34 9.8	23 6.6	1 0.3	32 9.2	40 11.6	2 0.6	11 3.2	25 7.2	20 5.8	9 2.6	5 1.4	346 100.0	

下段は%

表6 現在の職種別 就業機関

N=346 平成4.3.31現在

職種 就業機関	病院	診療所	研究所	保健所	市町村 区役所	事業所 企業	母子セ ンター	幼小 中学校	高校	各種 学校	専修 学校	短大	大学	その他			計
														乳児 院	自 業	他	
看護 婦	101 90.1	2 1.8			3 2.7	1 0.9								5 4.5		112 100.0	
保健 婦	4 4.2		1 1.0	35 36.5	31 32.3	22 22.9							2 2.1	1 1.0		96 100.0	
助産 婦	1 50.0						1 50.0									2 100.0	
養護 教諭								30 51.7	27 46.6					1 1.7		58 100.0	
看護 大												24 57.1	18 42.9			42 100.0	
教員 その他								12 48.0		2 8.0	11 44.0					25 100.0	
その他								2 18.2	1 9.1			1 9.1		2 18.2	5 45.4	11 100.0	
総 数	106 30.6	2 0.6	1 0.3	35 10.1	34 9.8	23 6.6	1 0.3	32 9.2	40 11.6	2 0.6	11 3.2	25 7.2	20 5.8	9 2.6	5 1.4	346 100.0	

下段は%

表7 卒業年代群別 役職

N=344

平成4.3.31現在

年代群	役職名	総(副)婦長	病棟婦長	棟長	主任係	保健婦長室	教授	助教授	講師	助手	教主任	校副校長	校長	役職なし	非常勤パート	その他	計
1～10期生		6	1	1	1	1	9	5			1	3	30	3	4	64	
		9.4	1.6	1.6	1.6	1.6	14.1	7.8			1.6	4.7	46.9	4.7	6.3	100.0	
11～20期生		2	4	5	8		5	7	2		1		43	5	10	88	
		2.3	4.5	5.7	9.1		8.0	8.0	2.3		1.1		48.9	6.8	11.4	100.0	
21～30期生			1	2	6	1	2	2	4	4			68	2	2	89	
			1.1	4.1	6.7	1.1	2.2	2.2	4.5	4.5			76.4	2.2	2.2	100.0	
31～37期生					2					3			95	1	2	103	
					1.9					2.9			92.2	1.0	1.9	100.0	
総数		8	5	14	17	2	14	14	6	7	2	3	236	12	18	344	
		2.3	1.5	4.1	4.9	0.6	4.1	4.1	1.7	2.0	0.6	0.9	68.6	3.5	5.2	100.0	

下段は%

表8 現在の職種別 役職

N=344

平成4.3.31現在

職種	役職名	総(副)婦長	病棟婦長	棟長	主任係	保健婦長室	教授	助教授	講師	助手	教主任	校副校長	校長	役職なし	非常勤パート	その他	計
看護婦		8	5	6	6									83	4	4	110
		7.3	4.5	5.5	5.5									75.5	3.6	3.6	100.0
保健婦				9	9	2								76	6	3	96
				9.4	9.4	2.1								79.1	6.3	3.1	100.0
助産婦														2			2
														100.0			100.0
養護教諭														53	1	4	58
														91.4	1.7	6.9	100.0
看護教員	大学・短大			14	14		14			7				1	1		42
				33.3	33.3		33.3			11.9	16.7			2.4	2.4		100.0
その他	その他										2	2	2	19		2	25
											8.0	8.0	8.0	76.0		8.0	100.0
その他	その他				2									2		5	11
					18.2										18.2		45.4
総数	総数	8	5	14	17	2	14	14	6	7	2	3	236	12	18	344	
		2.3	1.5	4.1	4.9	0.6	4.1	4.1	1.7	2.0	0.6	0.9	68.6	3.5	5.2	100.0	

下段は%

表9 現在の就業地 最初の就業地 出身地

N = 447 平成4.3.31 現在

就業地	北海道	東北	関東	信北	東海	近畿	中国	四国	九州	外国	高知 (再掲)	計
現在の就業地	1 0.3	1 0.3	68 19.7	3 0.9	15 4.3	58 16.8	22 6.4	161 46.7	15 4.3	1 0.3	121 35.1	345 100.0
最初の就業地	1 2.3		103 24.0		13 3.0	68 15.8	25 5.8	205 47.6	15 3.5		166 38.7	430 100.0
出身地	2 0.4	2 0.4	4 0.9	5 1.1	11 2.5	29 6.5	41 9.2	313 70.1	40 8.9		247 55.3	447 100.0

下段は%

表10 卒業年代群別 現在の就業地

N = 345 平成4.3.31 現在

年代群	就業地	北海道	東北	関東	信北	東海	近畿	中国	四国	九州	外国	高知 (再掲)	計
1 ~ 10 期生			1 1.6	8 12.5		3 4.7	17 26.5	3 4.7	32 50.0			22 34.4	64 100.0
11 ~ 20 期生				20 22.7	1 1.1	4 4.6	12 13.6	5 5.7	40 45.5	5 5.7	1 1.1	31 35.2	88 100.0
21 ~ 30 期生				16 17.8	2 2.2	3 3.3	10 11.1	8 8.9	46 51.1	5 5.6		31 34.4	90 100.0
31 ~ 37 期生	1 1.0			24 23.3		5 4.9	19 18.4	6 5.8	43 41.7	5 4.9		37 35.9	103 100.0
計	1 0.3	1 0.3	68 19.7	3 0.9	15 4.3	58 16.8	22 6.4	161 46.7	40 11.6	1 0.3	121 35.1	345 100.0	

下段は%



表11 職種別 現在の就業地

N = 345 平成 4. 3. 31 現在

就業地	北海道	東北	関東	信越 北陸	東海	近畿	中国	四国	九州 沖縄	外国	高知 (再掲)	計
看護婦	1 0.9	1 0.9	28 25.2		6 5.4	24 21.6	6 5.4	41 36.9	3 2.7	1 0.9	36 32.4	111 100.0
保健婦			18 18.8		3 3.1	14 14.6	5 5.2	48 50.0	8 8.3		34 35.4	96 100.0
助産婦				1 50.0		1 50.0						2 100.0
養護教諭			8 13.8		1 1.7	7 12.1	6 10.3	34 58.7	2 3.4		24 41.4	58 100.0
看護 教員			9 21.4	2 4.8	2 4.8	6 14.3	4 9.5	19 45.2			12 28.6	42 100.0
			2 8.0		2 8.0	4 16.0	1 4.0	14 56.0	2 8.0	10 40.0		25 100.0
そ の 他			3 27.3		1 9.1	2 18.2		5 36.4			5 45.5	11 100.0
			1 0.3	1 0.3	68 19.7	3 0.9	15 4.3	22 6.4	161 46.7	15 4.3	1 0.3	121 35.1
計												

下段は%

表12 未就業の内訳

N=101 平成 4. 3. 31 現在

休職中	7 ( 6.9)
専業主婦	73 ( 72.3)
就学中(含就学準備中)	14 ( 13.9)
その他	7 ( 6.9)
計	101 (100.0)

( )は%

表13 卒業年代群別 未就業の内訳  
N=101 平成 4. 3. 31 現在

休職 状況 年代群	休職中	専業主婦	就学中 含就学 準備中	その他	計
1~10 期生	2 8.3	20 83.4		2 8.3	24 100.0
11~20 期生	1 5.0	15 75.0	2 10.0	2 10.0	20 100.0
21~30 期生	2 4.8	30 71.4	7 16.7	3 7.1	42 100.0
31~37 期生	2 13.3	8 53.4	5 33.3		15 100.0
計	7 6.9	73 72.3	14 13.9	7 6.9	101 100.0

下段は%

表14 卒業年代群別 無職の理由

(複数回答)

平成4.3.31現在

無職の理由 年代群	労働条件 環境	専門職とし ての進学	結婚によ る転居	夫の勤 転	通勤 時間	家庭の事情 介護・家事	結 婚	出産・育児 子供の教育	病 療	気 養	健康上 の理由	定 年 退 職	その他	計
1～10期生				2	1	3	7	2	3	6	1	2	27 22.3	
11～20期生		2	3	3		1	8	5	3	1		1	27 22.3	
21～30期生	1	5	2	3		3	13	21		2		1	51 42.2	
31～37期生		3				2	5	5				1	16 13.2	
総 数	1 0.8	10 8.4	5 4.1	8 6.6	1 0.8	9 7.4	33 27.3	33 27.3	6 5.0	9 7.4	1 0.8	5 4.1	121 100.0	

下段は%

表15 卒業年代群別 卒業時と現在の職種

平成4.3.31現在

年代群	職種		看護婦	保健婦	助産婦	養護教諭	看護教員		その他	不 明	総 数
	卒業時	現在					大学・短大	その他			
1～10期生	卒業時	42.0	23.9		30.7					3.4	19.7
	現在	20.3	10.9		31.3		7.8	4.7			18.5
11～20期生	卒業時	52.8	13.9		14.8		11.1	2.8		1.9	24.2
	現在	19.3	27.3		21.6		10.2	5.7			25.4
21～30期生	卒業時	63.6	22.7		9.8		1.5	0.8			29.6
	現在	13.3	43.3		17.8		12.2	2.2			26.0
31～37期生	卒業時	82.2	16.1		0.8						26.5
	現在	67.3	25.0		2.9			1.0			30.1
総 数	卒業時	61.7	19.1		12.8		2.7	0.9		1.1	100.0
	現在	32.4	27.7		16.8		7.2	3.2			100.0

数字は各年代群の総数に対する%

表16 卒業時と現在の職種別構成の変化  
N=346 平成4.3.31現在

卒業時 職種	現在の職種							総 数
	看護 婦	保健 婦	助 産 婦	養 護 教 諭	看護教員		そ の 他	
					大学 短大	そ の 他		
看護婦	104 49.5	44 21.0	1 0.5	11 5.2	27 12.9	17 8.1	6 2.9	210 100.0
保健婦	4 5.9	48 70.6		5 7.4	7 10.3	3 4.4	1 1.5	68 100.0
助産婦			1 50.0		1 50.0			2 100.0
養護教諭	1 2.2			37 80.4	4 8.7	1 2.2	3 6.5	46 100.0
看護教員 大短				1 33.3	1 33.3		1 33.3	3 100.0
看護教員 その他	1 10.0	1 10.0		3 30.0	2 20.0	3 30.0		10 100.0
その他	1 25.0	2 50.0				1 25.0		4 100.0
不明	1 33.3	1 33.3		1 33.3				3 100.0
総数	112 32.4	96 27.7	2 0.6	58 16.8	42 12.1	25 7.2	11 3.2	346 100.0

下段は%

表17 卒業年代群別 転職回数

N=439 平成4.3.31現在

年代群	回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	総数
1～10期生		22 25.9	17 20.0	11 12.9	16 18.8	5 5.9	7 8.2	4 4.7		1 1.2	2 2.4	85 100.0
11～20期生		22 21.0	27 25.7	21 20.0	26 24.8	6 5.7		1 1.0	2 1.9			105 100.0
21～30期生		44 33.6	44 33.6	23 17.6	18 13.8	2 1.5						131 100.0
31～37期生		86 72.9	22 18.6	9 7.6		1 0.8						118 100.0
総数		174 39.6	110 25.1	64 14.6	60 13.7	14 3.2	7 1.6	5 1.1	2 0.5	1 0.2	2 0.5	439 100.0

下段は%

表18 現在の職種別 転職回数

N=341 平成4.3.31現在

職種	転職回数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
看護婦		65 58.6	10 9.0	19 17.1	12 10.8	1 0.9	2 1.8	1 0.9				111 100.0
保健婦		31 32.6	27 28.4	19 20.0	10 10.5	5 5.3		1 1.1	1 1.1			95 100.0
助産婦			1 50.0	1 50.0								2 100.0
養護教諭		25 45.5	16 29.1	6 10.9	6 10.9	1 1.8	1 1.8					55 100.0
看護教員 大短			12 28.6	6 14.3	12 28.6	5 11.9	4 9.5	2 4.8	1 2.4			42 100.0
看護教員 その他		3 12.0	9 36.0	3 12.0	7 28.0	1 4.0		1 4.0		1 4.0		25 100.0
その他		1 9.1	4 45.5	1 9.1	4 36.4							11 100.0
総数		125 36.7	80 23.5	55 16.1	51 15.0	13 3.8	7 2.1	5 1.5	2 0.6	1 0.3	2 0.6	341 100.0

下段は%

表19 卒業年代群別 同職種内での職場移動の理由

(複数回答) 平成4.3.31現在

転職場の理由 年代群	労働 条件 環境	希望 の 職場	職場 の 人間 関係	給与等 経済的 条件	職場で 職業的 発展の ため の地位	職業的 発展の ため による 転居	夫の 転勤	帰省	通勤 時間	家庭の 介護 家事 介家	結婚	出 産 育 児 子 教 育	健康上 の理由	能力 不足	他から の要請	その他	計
1～10期生	2	7	1		3	2	2		2	2	4	1			3	4	33
11～20期生		4			1	5	2	3	3	2	7			1	5	5	40
21～30期生	2	2					1	5	3		12	1					26
31～37期生	3		1	1				1			2		1				9
総 数	7 6.5	13 12.0	2 1.9	1 0.9	4 3.7	7 6.5	5 4.6	9 8.3	8 7.4	4 3.7	25 23.2	2 1.9	1 0.9	1 0.9	8 7.4	9 8.3	106 100.0

下段は%

表20 現在の職種別 同職種内での職場移動

(複数回答) 平成4.3.31現在

転職場の理由 職種	労働 条件 環境	希望 の 職場	職場 の 人間 関係	給与等 経済的 条件	職場で 職業的 発展の ため の地位	職業的 発展の ため による 転居	夫の 転勤	帰省	通勤 時間	家庭の 介護 家事 介家	結婚	出 産 育 児 子 教 育	健康上 の理由	能力 不足	他から の要請	その他	計
看護婦	3	4	1	1	3	3	3	4			5			1	1		29
保健婦		3	1			1	2	3	4	1	6					6	28
助産婦											1						1
養護教諭		1							1	1	1		1		2		6
看護 大学・短大		4				1	1	1	2	2	1	1			5	2	20
教員 その他	1	1				1		1		1	3						8
そ の 他											1						1
総 数	4 4.3	13 13.9	2 2.2	1 1.1	3 3.2	6 6.5	5 5.4	9 9.6	7 7.5	4 4.3	18 19.3	1 1.1	1 1.1	1 1.1	8 8.6	8 8.6	93 100.0

下段は%

表21 卒業年代群別 転職の理由

(複数回答) 平成4.3.31現在

転職の理由 年代群	労働 条件 環境	やり たい 仕事	職場 の 人間 関係	給与 等 経済 条件	職業 的 発 展 の ため	結婚 による 転居	夫の 転勤	帰省	通勤 時間	家庭の 事情 介護 家事 介家	結婚	出産・ 育児 教育 子供	転勤	健康上 の理由	能力 不足 の要請	他から	気分 転換	その他	計
1～10期生	4	15				1	2	1	5	1	4	4	7	2	10	3	3	62	
11～20期生	5	11	1		4	1	2	1	2	2	5	2	7	2	3	6	1	4	59
21～30期生	5	12	2		3	2		4		1	7	2	14	2		6	1	3	64
31～37期生	1	4		1	1	1		3		1	5		2	1			2	2	24
総 数	15 7.2	42 20.2	3 1.4	1 0.5	8 3.8	5 2.4	4 1.9	9 4.3	7 3.3	5 2.4	21 10.0	8 3.8	30 14.5	7 3.3	3 1.4	22 10.6	7 3.3	12 5.7	209 100.0

下段は%

表22 現在の職種別 転職の理由

(複数回答) 平成4.3.31現在

転職の理由 職種	労働 条件 環境	やり たい 仕事	職場 の 人間 関係	給与 等 経済 条件	職業 的 発 展 の ため	結婚 による 転居	夫の 転勤	帰省	通勤 時間	家庭の 事情 介護 家事 介家	結婚	出産・ 育児 教育 子供	転勤	健康上 の理由	能力 不足 の要請	他から	気分 転換	その他	計
看護婦	2	7				1	1			1	4	1	5		1	1	1	2	27
保健婦	7	10		1	3		2	3	2	3	8	3	8	2	1	2	1	3	59
助産婦																			
養護教諭	1	3				1		1	5		3	2		1	1	2	4	2	26
看護大学・短大	6				3		1	2			1	1	5			9		2	30
教員	4	4				1					1	1	10	1		2	1	2	27
その他		4	1					1						1		4		1	12
総 数	14 7.7	34 18.7	1 0.6	1 0.6	6 3.3	3 1.7	4 2.2	7 3.9	7 3.9	4 2.2	17 9.4	8 4.4	28 15.4	5 2.8	3 1.7	20 11.0	7 3.9	12 6.6	181 100.0

下段は%

表23 卒業年代群別 退職の理由

(複数回答)

平成4.3.31現在

退職の理由 年代群	労働環境	職場での地位	専門職としての進学の進学	職業的発展のため	結婚による転居	夫の転勤	帰省	通勤時間	家庭の介護	結婚	出産・育児	病気の療養	健康上の理由	定年退職	能力不足	気分転換	その他	計
	1～10期生	1	1	4		4	2		3	5	15	12	5	9	3	1	2	5
11～20期生	1		11	1	1	8			3	25	17	2	1		1		3	74
21～30期生	4		19	1	2	2		1	3	22	20	1	4				4	83
31～37期生	2		6		1		1	1	2	7	10		2				1	33
総数	8	1	40	2	8	12	1	5	13	69	59	8	16	3	2	2	13	262
	3.1	0.4	15.2	0.8	3.1	4.6	0.4	1.9	5.0	26.2	22.4	3.1	6.1	1.1	0.8	0.8	5.0	100.0

下段は%

表24 現在の職種別 退職の理由

(複数回答)

平成4.3.31現在

退職の理由 職種	労働環境	職場での地位	専門職としての進学の進学	職業的発展のため	結婚による転居	夫の転勤	通勤時間	家庭の介護	結婚	出産・育児	病気の療養	健康上の理由	定年退職	能力不足	気分転換	その他	計
	看護婦	2		6	1		1		1	4	8	1	1	1	1	1	6
保健婦	2	1	2		1	3	3	1	13	17	2	4			1	1	51
助産婦			2														2
養護教諭								1	5								6
看護大学・短大				1	1	1	1	1	1	2		1	1	1			10
教員その他			1						1	4	1						7
その他			1						2	2							5
総数	4	1	12	2	2	4	4	4	26	33	4	6	2	2	2	7	115
	3.5	0.9	10.4	1.7	1.7	3.5	3.5	3.5	22.6	28.8	3.5	5.2	1.7	1.7	1.7	6.1	100.0

下段は%



表25 卒業年代群別 将来の方針 (複数回答) 平成4.3.31現在

将来の方針 年代群	今大成長の切長たい職に就いてい	今継続の続を職した場をかをい自せ選	現うざしと種をい違める	その他	N.A	総計
1～10期生	50 78.1	5 7.8	2 3.1		7 10.9	64 100.0
11～20期生	58 66.9	22 25.0	4 4.5	1 1.1	3 3.4	88 100.0
21～30期生	47 52.2	35 38.9	2 2.2		6 6.7	90 100.0
31～37期生	37 35.6	40 38.5	21 20.2	1 1.0	5 4.8	104 100.0
総数	192 55.5	102 29.5	29 8.4	2 0.6	21 6.1	346 100.0

下段は%

表26 現在の職種別 将来の方針 N=346 平成4.3.31現在

職種	将来の方針	今大成長の切長たい職に就いてい	今継続の続を職した場をかをい自せ選	現うざしと種をい違める	その他	総計
看護婦	36 32.1	47 42.0	20 17.9	1 0.9	8 7.1	112 100.0
保健婦	60 62.5	26 27.1	6 6.3		4 4.2	96 100.0
助産婦		2 100.0				2 100.0
養護教諭	44 75.9	10 17.2	1 1.7		3 5.2	58 100.0
看護	28 66.7	10 23.8			4 9.5	42 100.0
教員	15 60.0	7 28.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	25 100.0
その他	9 81.8		1 9.1		1 9.1	11 100.0
総数	192 55.5	102 29.5	29 8.4	2 0.6	21 6.1	346 100.0

下段は%

表27 卒業年代群別 今後したいこと (複数回答)

今後したいこと 年代群	専知識門を的高る	進学	自己啓発	業績をむ	看に看護教員職	養に護教諭職	保健康婦に職	看転護婦に職	看転よりよに転件職	看外に護の婦以事職	職の位向地位上	配を置転換望	寮に庭たに入い	仕め事たををい辞い	専心進門領み域的関にい	看高護め職をを	専し動求門でのめ職の場と活をる	模索中	退設職後の計	その他	計
1～10期生		2	2	1	1				1	1	3			1	3	1			15	10	41
11～20期生		3	4	4	5	1	3		2	2	13				13	10	4	2	3	12	71
21～30期生		7	7	6	6		2	1	2		13	1	2		13	4	5	11		15	84
31～37期生		7	8	6	7	2	22	1	5	2	14	1	4		14	1	4	11	1	13	112
総数	17 5.5	16 5.2	15 4.9	17 5.5	19 6.2	3 1.0	27 8.8	2 0.6	10 3.2	5 1.6	3 1.0	2 0.6	6 1.9	1 0.3	43 14.0	16 5.2	13 4.2	24 7.8	19 6.2	50 16.2	308 100.0

下段は%

表28 現在の職種別 今後したいこと

(複数回答)

平成4.3.31現在

将来の目標 職種	専門的知識を 高める	進学	自己啓発	業績をつむ	看護教員に職 転	養護教諭に職 転	保健婦に職 転	看護婦に職 転	より条件よ い職場に職 転	看護以外 の仕事に職 転	職位地位 向上	配置転換を 望む	家庭に入り たい	仕事を辞め たい	専門的関心 を高める	看護職を 高める	専門職とし ての場を	求職活動	模索中	退職後の設 計	その他	計	
看護婦	7	8	5	3	6	2	21	7	7	2	1	2	4	1	19	6	3	11	7	11	123		
保健婦	5	1	4	4	5	1	4	1	2				1	8	3	4	3	3		23	70		
助産婦																					1	1	
養護教諭	3	2	4	3											1	3	1	5	7	7	36	36	
看護短大 教員	1	2	1	2				1	3	1	2	1	1		4	2	1	2	3	3	29	29	
その他		1		3	2				1	1					2					1	2	12	12
その他					1										2	1	2			1	2	9	9
総数	16 5.7	14 5.0	14 5.0	15 5.4	14 5.0	3 1.1	25 8.9	2 0.7	10 3.6	4 1.4	3 1.1	2 0.7	6 2.1	1 0.4	36 12.9	15 5.4	11 3.9	21 7.5	19 6.8	19 7.4	49 17.4	280 100.0	

下段は%

表29 卒業年代群別 職業的発展のための努力内容

(複数回答)

平成4.3.31現在

努力内容 年代群	専読 専門雑誌を 読む	施設内研 究参加	学会に参 加	講習会に 参加	発表経験 をつ	新事に 知識をか 仕す	進学	専門的取 得資格	専門的学 習する	研究活動	学習会を つ	一般教養 を	高外国語 の得	学ぼう勢 をつ	学も毎日 の切に	職場改善 見直し	その他	計
1～10期生	3	1	2	9	1	2		3	7	7	1	4		2	8	1	4	55
11～20期生	8	5	5	8		1	2	3	1	7	7	8	2	6	3	3	4	73
21～30期生	5	1	4	17	2		8	1	11	10	8	8	3	9	3	2	2	94
31～37期生	16	12	4	12	2	2	5	1	9	4	9	1	3	2	4	4		90
総数	32 10.2	19 6.1	15 4.8	46 14.6	5 1.6	5 1.6	15 4.8	8 2.6	28 9.0	28 9.0	25 8.0	21 6.7	8 2.6	19 6.1	18 5.8	10 3.2	10 3.2	312 100.0

下段は%

表30 現在の職種別 職業的発展のための努力内容 N=207 (複数回答) 平成4.3.31現在

現在の職種	努力内容	専を門読雑誌む	施研参設会内に加	学参会に加	講参習会に加	発表も経験つ	新仕生知事か識をにす	進学	専格を門の取資る	専習門を的学する	研究活動	学も習会をつ	一を般高教養る	外習国話の得	学をぶも姿勢つ	毎事に日のをすの大仕切る	職善内見場業の直改務容し	その他	計
看護婦		15	12	6	14	1	1	3	2	8	5	4	6	2	1	5	3	3	91
保健婦		5	3	4	16	3	1		1	9	6	12	6	5	4	7	4	3	89
助産婦				1	1						1								3
養護教諭		3	1	2	10				3	5	4	4	2		6	1	2	1	44
看護 教員	大	2	2	1		1	2	3	1	1	8	2				2		1	26
	短																		
	その他	3			3		1	1			1		3		2	1	1	2	18
その他				1	1						2	2	1			2			9
総数		28	18	15	45	5	5	7	7	23	27	24	18	7	13	18	10	10	280
		10.0	6.4	5.4	16.1	1.8	1.8	2.5	2.5	8.2	9.6	8.6	6.4	2.5	4.6	6.4	3.6	3.6	100.0

下段は%

表31 看護学科に期待すること

N=238 (複数回答)平成4.3.31現在

看護学科に期待すること	人数(%)
看護の卒業教育の内容	70(10.8)
看護以外の卒業教育の内容の併設	6(0.9)
現任者の卒業教育の方法の提案	24(3.7)
その他の卒業教育の方法の提案	17(2.6)
大学院の設置	164(25.2)
学部独立の早期実現	84(12.9)
大学の機構	15(2.3)
特徴、その他	68(10.5)
研究機関としての発展	12(1.8)
教職員の充実	15(2.3)
人材の育成	21(3.2)
カリキュラムの検討	40(6.1)
他部門との協力	8(1.2)
存在のPRをする	13(2.0)
公開講座の開催	7(1.1)
理論と実践をつなぐ	3(0.5)
情報の提供	19(2.9)
構想案実現後の学習希望の表明	3(0.5)
その他	62(9.5)
計	651(100.0)

( )は%

表32 卒業生動向調査対象の内訳 昭和59年 平成4年

調査年	調査対象 期 生	対象 者数 人	回答 者数 人	回答率 **%	卒業年代群別 回収率 % (人)				
					1～10	11～20	21～30	31～37	
昭和59年	1～29期生	572	253	44.2	31.6(80)	30.0(76)	*35.6(90)	—	不明
平成4年	1～37期生	760	447	58.8	19.7(88)	24.2(108)	29.5(132)	26.6(119)	—

但し \*は20～29期生まで

( )は人数

\*\*は全卒業者数に対する回答者の割合

表33 調査時の就業状況とその内訳

	職業あり % (人数)	職業なし % (人数)
昭和59年	74.3 % (188)	25.7 % (65)
平成4年	77.4 % (346)	22.6 % (101)

表34 卒業年代別 調査時の就業状況の比較

卒業年代群	調査年	職業あり	職業なし	総 数
1～10期生	昭和59年	76.2(61)	23.8(19)	100.0(80)
	平成4年	72.7(64)	27.3(24)	100.0(88)
11～20期生	昭和59年	61.8(47)	38.2(29)	100.0(76)
	平成4年	81.5(88)	18.5(20)	100.0(108)
21～30期生	*昭和59年	85.6(77)	14.4(13)	100.0(90)
	平成4年	68.2(90)	31.8(42)	100.0(132)
31～37期生	平成4年	87.4(104)	12.6(15)	100.0(119)
	昭和59年	42.9(3)	57.1(4)	100.0(7)
不 明	平成4年			
総 数	昭和59年	74.3(188)	25.7(65)	100.0(253)
	平成4年	77.4(346)	22.6(101)	100.0(447)

\*は21～29期生まで ( )は人数

表35 卒業年代別 調査時の職種の比較

年代群	調査年	職種						総 数
		看護婦	保健婦	助産婦	養護教諭	看護教員	その他	
1～10期生	昭和59年	21.3	8.2		37.8	31.1	1.6	100.0( 61)
	平成 4年	20.3	10.9		31.3	32.8	4.7	100.0( 64)
11～20期生	昭和59年	14.9	27.7		14.9	40.4	2.1	100.0( 47)
	平成 4年	19.3	27.3		21.6	26.1	5.7	100.0( 88)
21～30期生	*昭和59年	28.6	35.0		19.5	16.9		100.0( 77)
	平成 4年	13.3	43.3	1.1	17.8	22.2	2.2	100.0( 90)
31～37期生								
	平成 4年	67.3	25.0	1.1	2.9	2.9	1.0	100.0(104)
不 明	昭和59年	33.3	33.3		33.3			100.0( 3)
	平成 4年							
総 数	昭和59年	22.9 (43)	24.5 (46)		24.5 (46)	27.0 (51)	1.1 ( 2)	100.0(188)
	平成 4年	32.4 (112)	27.7 (96)	0.6 ( 2)	16.8 (58)	19.3 (67)	3.2 (11)	100.0(346)

( )は人数 \*は21～29期生まで

表36 卒業年代別 調査時の未就業の内訳の比較

	調査年	休 職 中	専業主婦	就 学 中	そ の 他	総 数
1～10期生	昭和59年	5.3	84.1	5.3	5.3	100.0( 19)
	平成 4年	8.3	83.3		8.3	100.0( 24)
11～20期生	昭和59年		82.8	6.9	10.3	100.0( 29)
	平成 4年	5.0	75.0	10.0	10.0	100.0( 20)
21～30期生	*昭和59年	7.7	61.5	23.1	7.7	100.0( 13)
	平成 4年	4.8	71.4	16.7	7.1	100.0( 42)
31～37期生						
	平成 4年	13.3	53.4	33.3		100.0( 15)
不 明	昭和59年		75.0		25.0	100.0( 4)
	平成 4年					
総 数	昭和59年	3.1( 2)	78.5(51)	9.2( 6)	9.2( 6)	100.0( 65)
	平成 4年	6.9( 7)	72.3(73)	13.9(14)	6.9( 7)	100.0(101)

( )は人数 \*は1～29期生まで